

白牡丹一会の色を尽くしけり

伊東次雄

一期とていのらの末の間白牡丹

伊東次雄

武四郎片仮名地図に夏の海

山本俊郎

歩いても歩きつかれて蝸牛

山本俊郎

昼食は鰻と決めて友と逢う

木宮節子

挨拶をしたくない日の日傘かな

木宮節子

露涼し軍手ましろき二人なり

上澤孝二

踏みこくらされて木下の桜の実

上澤孝二

行きは白帰りは黄色ばらの門

松原智津子

まなかひに日高連山薯の花

松原智津子

蜘蛛の糸めぐり逢う日のある奇蹟

船矢深雪

森で飲むビール乾盃の多言語

船矢深雪

庭の梅二本に名づく夫婦梅

森山圭悦

花筏上杉城址錦鯉

森山圭悦